

報道関係各位

国立新美術館
国際交流基金

2018年11月29日(木)～12月30日(日)

国立新美術館 国際展 | ジャポニスム 2018 公式企画

「MANGA⇄TOKYO」(会場:ラ・ヴィレット<フランス・パリ>)開催のお知らせ

MANGA ⇄ TOKYO



イラストレーション: 吉成曜
©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net / ©カラー / ©武内直子・PNP・東映アニメーション / ©秋本治・アトリエひーたま/集英社 / ©創通・サンライズ / ©TOHO CO., LTD.

このたび国立新美術館と国際交流基金は、2018年11月29日(木)よりフランス・パリのラ・ヴィレットにて、「MANGA⇄TOKYO」を開催する運びとなりました。

日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品は、都市〈東京〉の特徴や変化を、鏡のように映しだしてきました。本展は、そのさまざまな描写を、多数の原画や模型、映像などでたどります。現実の都市の特徴がいかにフィクションに影響を与え、方向付けてきたのか。またそれらフィクションやそのキャラクターが、現実の都市にいかなるイメージを重層的に付与し、作用をおよぼしてきたのか。本展は、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示であると同時に、そこに映し出され、さらには人々の記憶の中で重ね合わされた、〈東京〉を展示します。「聖地巡礼」など、アニメやゲームが観光資源として注目される中、その意味や可能性に光を当てます。

本展は、2015年に国立新美術館で開催した「ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム」に続き第2弾となる展覧会であり、日仏友好160年を記念した日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」の公式企画として開催するものです。都市〈東京〉の複合的体験を提供する企画展示となる本展では、約90点のコンテンツの出品を予定しております。

・出品作品

順次、展覧会ウェブサイトなどで公開いたします。

・展覧会の構成

- 巨大東京都市模型
- 破壊と復興の反復
- 東京の日常（江戸から現代まで）
- キャラクターvs.都市



秋葉原の街並み
撮影：後藤武浩



池袋の“乙女ロード”
撮影協力：アニメイト
撮影：後藤武浩



お台場の実物大ユニコーンガンダム立像
撮影協力：ダイバーシティ東京 プラザ (C) 創通・サンライズ
撮影：後藤武浩

開催概要

- ・展覧会名： MANGA ⇄ TOKYO
- ・期間： 2018年11月29日（木）～ 12月30日（日）
- ・会場： ラ・ヴィレット（フランス・パリ）
- ・主催： 国際交流基金、国立新美術館、文化庁、マンガ・アニメ展示促進機構、ラ・ヴィレット
- ・監修： 森川嘉一郎（明治大学国際日本学部准教授）
- ・企画： 国立新美術館
- ・観覧料： 有料
- ・お問い合わせ： 03-5777-8600（ハローダイヤル）

展覧会ウェブサイト

- ラ・ヴィレット（会場） <https://lavillette.com/evenement/manga-tokyo/>（フランス語）
- 国立新美術館 http://www.nact.jp/exhibition_special/2018/MANGA-TOKYO/
- ジャポニスム 2018 <https://japonismes.org/>

報道関係のお問い合わせ

国立新美術館 広報・国際室 〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2
TEL: 03-6812-9925（平日 10:00-17:00） FAX: 03-3405-2532 Email: pr@nact.jp

ジャポニスム 2018 に関するお問い合わせ

独立行政法人国際交流基金ジャポニスム事務局 / ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内
担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子
住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル
TEL: 03-6894-3201 FAX: 03-5413-3050 E-mail: japonismes2018@ssu.co.jp

